

友の会のページ

「お元気ですか」改題No.272
編集 代々木健康友の会
☎03(5411)9589
03(3404)3421

会費納入のご案内

会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会

第44交代々木健康友の会総会にぜひ参加ください

*日時：10月31日(日) 午前9時30分開場 10時開会

(終了は12時30分を予定。昼食は軽食を用意いたします)

*場所：全理連ビル9階大ホール(代々木駅徒歩1分)

*記念講演 小池晃日本共産党前参議院議員・医師

*議案は4・5ページに掲載しております。友の会へのご意見、ご要望をぜひお寄せ下さい。総会の出欠は同封のはがきで返信してくださ

い。または友の会事務所にご連絡ください。会費の納入、原水禁カンパに多くの方のご協力、ご支援をいただきありがとうございます。

平和と豊かな文化を

各地で地域の青空映画会開催

去る9月5日夜、西原小学校の校庭で約200人の来場者を迎え、25回目の星空映画会を開催しました。「平和とゆたかな文化」をテーマに、今年25年目を迎えることが出来ました。



今年は被爆65年というこゝとで、「千羽鶴」の上映、短編は「ムーミン」です。これは、原爆の子の像の建設のため、「団結の会」を綴り友たちで作って奔走する感動的な映画です。上映中親子で語り合います。

間強い大きな友の会づくりを

国民生活も、政策もそっちのけで民主党の代表選挙がおこなわれ、菅首相が継続することになりました。

いつの間にか「コンクリートから人へ」というスローガンが消え、沖繩・辺野古への基地押しつけ、消費税増税と法人税減税、国会議員の比例定数削減、後期高齢者医療制度のさらなる改悪など、平和と人権、民主主義への重大な挑戦が行われています。わたしたちは多くの団体、住民との共同を追求し、憲法と生存権、民主主義を守るために、要求実現をめざして奮闘します。

記

次期要綱で「共同組織拡大強化月間」と取り組めます。早期に、6000名に回復するよう全力をあげましょう。また、例年通り「健診」月間にも取り組めます。

ピ小説「ゲゲゲの女房」の、水木しげるさんの原作ということもあり、例年になく多くのみなさんに楽しんでもらうことができました。カップにそっくりな男の子・三平とカップのガーターローとの友情を描いたストーリーで、河童・妖怪などが出てきてユニークな楽しい映画でした。校舎にすえつけられた大スクリーンに映し出される映画を真剣にみている子どもたちの姿が印象的でした。

期間限定 健診月間 10月10日～11年2月まで

多彩な友の会がん健診と外来人間ドックのおすすめ

乳がん検診は、40歳以上の方には触診とマンモグラフィー、40歳未満の方には触診と乳房エコー検査を実施します。乳がんは女性の罹患率が高くなる中で、20歳に1人がかかるといわれています。今回は、増え続ける乳がんの早期発見のため、40歳未満の方に乳房エコー検査を新たに実施します。

検査項目	友の会料金	一般料金
乳がん検診 (触診+マンモグラフィー+乳房エコー検査)	3,000	5,250
乳がん検診と子宮がん検診 (子宮頸部の細胞診) セット	8,000	10,500
前立腺がん検診 (PSA検査)	1,200	2,100
大腸がん検診 (便潜血2回法)	500	2,100
外来人間ドック	26,250	42,000

多彩な友の会がん健診と外来人間ドックのおすすめ。35歳を過ぎたら年に一度の半日人間ドックを受けましょう。忙しいあなたでも気軽に受けられます。

待合室

もう20年にしていきたくて強く思った。しかし残念ながら、今の社会では格差は拡大し、孤独死も餓死も珍しくない。深刻な格差と貧困。深刻な格差と貧困。深刻な格差と貧困。

代々木健康友の会 第44回定期総会方針案

地域での共同を広げ、要求実現に全力をつくし新しい時代を展望した強い友の会づくりを!

活動のまとめと方針

私たちをめぐる情勢

日本の政治の大激動が進行中です。先の参議院選挙では、民主党政権の後期高齢者医療制度の先送りや、普天間基地移設問題などの公約破りの連続が国民に失望を与え、さらに、消費税10%増税まで打ち出し、国民から「民主には失望、自民には戻れない」の審判を受け、民主党は大敗しました。



原水禁大会 in 広島



エレベーター署名行動

「はいらない」の民意が示され、基地の無条件撤去こそ求められています。

今年是被爆して65年。核兵器廃絶をめざす、新たな国際的なうねりが広がっています。今年5月、ニューヨークで開かれた核不拡散条約(NPT)再検討会議は、核兵器禁止条約に初めて言及する画期的な成果があり、原水禁世界大会には国連事務総長が初めてメッセージを送り、広島市の平和祈念式典にも参加、米国外務省式典に初参加するなど、「核なき世界」の運動が盛り上がっています。

しかし日本政府は核抑止論に固執し、唯一の被爆国の政府としての役割を發揮していません。今後政府にアメリカの核の傘からの離脱、非核3原則の法制化等をもとめ、核廃絶へのリーダーシップをとるように迫っていきます。

円高・株安が日本経済と中小企業に深刻な影響をもたらす、若年者の就職、失業問題は待たなれません。

民主党政権は、最悪の不公平税制である「消費税」増税方針に固執しています。しかし、いま求められているのは、大企業・大資産家優遇税制の見直しや軍事費に思い切ったメスを入れ、アメリカいいなり、大企業応援からくらし最優先にきりかえる経済政策です。

また、民主党政権が狙う「衆院比例定数削減」は大政党内に民意を大きくゆがめ、小政党を排除し、民主主義破壊につながる企てで

あり断じて許すことはできません。

わたしたちは多くの国民との共同を追究し、憲法と生存権、民主主義を守り、要求実現をめざして奮闘します。

菅首相の「新成長戦略」では、小泉内閣がすすめてきた新自由主義的な政策を復活させ、医療分野を「成長産業」として、介護でも成長市場(マーケット)として位置づけ、いっそうの規制緩和を促進させることになりま。

後期高齢者医療制度については、廃止の公約を破り「新制度」を検討しています。75歳での年齢区分は廃止するものの、保険料は現役世代とは別勘定にするというものです。これでは高齢者が増え医療費が増えるにつれて保険料がどんどん引き上げられ、医療費抑制を狙うという公約に対する決定的な裏切りです。

これは廃止しかありません。元の老人保健制度に戻すとともに、国庫負担を抜本的に増額し、さらに高齢者の窓口負担の無料化や保険料負担の軽減を図っていく改革を求めたたいかいます。

高齢者の社会的「孤立」も深刻化しています。65歳以上の孤独死は東京で毎年5000人を上回っています。安否確認など行政による見守り支援の強化が求められています。この点では地域の助け合い運動をすすめる友の会の出番ともいえる情勢です。

私たちが繰り返してくりこんできた署名運動や関係省庁などとの交渉が実って、収入減世帯の国保料の減免に国が半額負担する動きや、この夏の酷暑による熱中症問題などで、国が生活保護世帯に夏季加算する動きも出ています。政治は変えられます。

来春はいっせいで地方選挙がおこなわれます。自治体を変え、粘り強い運動を積み上げ、要求実現に向けてがんばりましょう。

一年の活動のまとめ

今年度は、希望ある政治に向かって草の根の運動をすすめるよう、決意新たにスタートしました。

第一には、行政などに対して要請行動で要求を実現していく活動です。

渋谷区に対して、「新型インフルエンザワク



JR東日本へ交渉



熱中症、渋谷区と交渉



熱中症・広報力一



後期高齢者医療制度廃止署名行動

チン接種費用の助成を求める請願運動をおこない、開業医15名を含む98団体から賛同が寄せられ請願を提出しました。

また、JR東日本に対する「千駄ヶ谷駅にエレベーターの早期設置を求める請願」運動は大きく成功しました。「くらしと健康」5月号で、千駄ヶ谷駅は「歩行が困難な者にとって大変こたえる」というコラムがきっかけで運動をはじめ、約1ヵ月間のとりくみでしたが署名は3472筆集めました。6月に署名をたずさずJR東日本東京支社と交渉をおこない「エレベーターとどれでもトイレの設置は年度内に稼働する」との回答を得、大きな成果となりました。

世田谷健康友の会は、世田谷区と交渉を重ね、介護施設への助成や子宮頸がん、肺炎球菌などのワクチン接種助成を求めて運動しています。

第二には、会員訪問を見守り活動と位置づけ、とりくんできたことです。

今年の夏はものすごい酷暑だったことから病院と友の会は、熱中症対策の運動をすすめました。渋谷区に対して要望書を提出し、熱中症予防の広報や注意喚起、独居高齢者への援助、低所得者や生活保護の人に冷房器具の購入や電気料金の支援などを申し入れました。独自には、病院周辺に住んでいる75歳以上の会員に電話での見守り活動と訪問活動をおこない、8月には「熱中症に気をつけましょう」と渋谷区内に宣伝力一を走らせました。この運動で一人暮らしの会員の把握と、「声かけ」運動の大切さを痛感しました。

さらに、「高齢者の受療権を守るための総訪問行動」で会員訪問を行い、老々介護の不安や負担増に対する不安を抱えている実態に接触してきました。また、新人職員と病院周辺の会員訪問を行い、さらに秋の月間では、23名が参加した神宮前地域の都営住宅の軒並み訪問活動など、共同のとりくみが前進しました。職員から、地域を知り地域から学ぶ活動が出来たと歓迎され、訪問活動の重要性を職員と共有し、一

人ひとりの要求をくみ上げていくことの大切さを学びました。

第三には、要求運動と結んで、積極的に友の会拡大にとりくんだことです。

後期高齢者医療制度廃止運動を積極的にとりくみ、制度3年目を迎えた4月1日の駅頭宣伝や明治公園で開かれた「安心の医療実現! 4・3集会in東京」には友の会、職員が100名参加しました。

「核兵器のない世界を」の署名運動は大きく広がり、5月のNPT(核不拡散条約)再検討会議に友の会から代表を送り、原水禁禁止世界大会in広島には2名の代表を派遣、世界大会に参加した仲間には核廃絶の運動の推進役を担っています。

強く大きな友の会をつくることは、様々な運動を前進させる上で欠かせない課題です。「共同組織拡大強化月間」で会員拡大200名の目標に対して147名の達成でした。待合室行動で11回延べ35人が参加。病棟訪問、地域訪問で拡大をすすめてきました。友の会健診にも系統的にとりくみ、月間中の健診では早期発見、早期治療の大切さを訴えて、乳がん検診20名、大腸がん検診50名、前立腺がん検診10名が受けました。

友の会の会員は現在●●人です。前年度は●●人でした。現在5年以上の会費未納者817人に会員の継続を求めお願いをしています。幹事先頭によく頑張った一年でした。ますます役員が求められています。全日本民主医療機関連合会(以下「民医連」)の新しい「綱領」には、初めて共同組織と一体となって活動することが明記されました。院所と共同してさらに大きな友の会、幅広い医療と福祉のネットワークづくりをめざします。

東京勤医会共同組織連絡会は、運動を進展させるため「組織の在り方」について協議をしています。医療をよくする会は月一回開催、医療の改善の議論にも積極的に参加してきました。

共同墓地は毎年新規の申し込みがあり、8月末現在237名になりました。

平和と社会保障、文化・レクレーションの活動

レクレーションの活動

後期高齢者医療制度の廃止、介護保険の改善に向けて民医連や社会保障推進協議会(以下「社保協」)主催の行動に参加しました。

毎月千駄ヶ谷駅頭で、広島と長崎に原爆が投下された6日または9日を中心に憲法改悪反対・核兵器廃絶の署名宣伝行動をしてきました。社保セミナーでは、大田病院が実施している「無料低額診療」について学びました。民医連では「無料低額診療」を実施する医療機関を増やそうと運動しており、代々木病院も東京都と協議を開始しています。引き続き学習会を行っていきたく思います。

戦争体験を語り継ぐ会は、昨年12月橋本進さんを招いて横浜事件について学習しました。8月には、病院と共催で原水爆禁止世界大会に参加した6名の報告集も兼ねて、草野和子さんから東京大空襲のお話をいただきました。3月に日帰り旅行、5月に1泊2日の旅行をおこないました。日帰り旅行は水戸の偕楽園に行きました。あいにくの雨でしたが多くの方に参加していただきました。1泊2日の旅行は松代・無言館を訪ねました。参加者が少なかったのは残念ですが、天気も良く楽しめたと思います。

シネマ館については著作権との関係が整理されませんが、7月には無料団体鑑賞のできる映画「千羽鶴」を上映しました。俳句教室は毎月第一水曜日に開催されています。参加者がなかなか増えないのが悩みですが、一人ひとり感じ方などの違いがあって楽しい句会になっています。今年「うたう会」を初めて開きました。入院患者さんにも喜んでもらえたと思います。



益踊りで健康チェック



俳句教室



歩こう会



第1回保健教室

学習教育と宣伝の活動

平和を守り、くらしと健康づくりのための情報発信に努力してきました。また、参議院選挙では、政治に問われる問題や争点についてキャンペーンをはり、特に医療制度やくらしの問題で、会員さんの実態から迫りました。

友の会の専門部活動が活発になるなかで、告知と活動報告は徹底しておこなってきました。ネットワークづくり、まちづくりの企画については不十分でした。「待合室」コーナーには多くの新入職員が登場、職員からの記事も増えています。ホームページの充実については協議をはじめました。

保健ボランティア、組織を大きくする活動

年間の会員拡大500名を目標にとりくみましたが、●名の拡大でした。サマーハイック、歩こう会、男の料理教室、ヨガ教室など友の会の行事、サークル活動が増えていきます。医事課の協力を得て友の会の案内を行うなど、職員と友の会会員の相互の協力によって会員を増やしました。

今年度は、会員訪問活動を旺盛にすすめました。新入職員との訪問や病院と共同して中断患者さんの訪問を行いました。また、熱中症が大きくマスコミで報道される中で会員の訪問を行いました。独居や高齢者世帯が増加する中、会員訪問活動は、ますます重要な活動になってきています。

院内統一行動を毎月行い、会員の拡大や後期高齢者医療制度廃止、核兵器廃絶などの署名を待合室の患者さんを対象にとりくみました。青空健康チェックは、病院玄関・広尾都営団地で開催、その中で健康相談や会員拡大につながっています。千駄ヶ谷社教館祭りや鳩森神社の益踊りで健康チェックを実施し好評でした。

班会は依然、年に1回の班会を開けない班があります。リハビリ室の職員による班会での学習会は好評でした。一階待合室のカウンターは、患者、地域の会員とのふれあいの場として充実してきました。会費の納入だけでなく相談活動の場としても重要性を増しています。

待合室セミナーは、地域包括支援センターの介護支援専門員さんに「みなさんの身近な相談窓口」と題して講演していただきました。

保健教室は第一回目を代々木病院の医療相談員による「知っておきたい!医療・介護・福祉制度」について、第二回目をリハビリ室による「あなたも100歳まで歩き続けられるように」と題して開催し学習しました。

「男の料理教室」は隔月で実施し、楽しく和やかなサークル活動がすすんでいます。会員が健康で長生きできるように病気の早期発見をめざして保健予防活動や健康増進、親睦と交流をめざした活動を進めてきました。また、友の会の外来人間ドックは162名、その他のがん検診は80名でした。

歩こう会は、都内の公園や名所を散策し毎回20名以上が参加、大変好評で親睦を深めています。ヨガ教室は、健康づくりに役立っています。世話人も決まり年2回の班会も行われています。布遊びは、毎月開いています。

来年度の活動方針

私たちは、一人ひとりが安心して暮らせる医療や年金などの社会保障の充実を願っています。しかし、後期高齢者医療制度では保険料の負担と医療費の負担が重くのしかかっています。低所得者のなかで、具合が悪いのに病院に行けなかった人が急増し、費用負担を理由にした受診抑制は深刻です。介護保険制度でも重い負担を理由にサービスの回数、時間を減らしています。

社会保障関連の保険料の負担が重く、その上、不公平税制である消費税増税は許すことはできません。

友の会は地域住民の要求に根ざした医療や介護の問題を地域のネットワーク、とりわけ地域の社保協と共同ですすめます。特に、後期高齢者医療制度の改悪・見直し案を学び、会員さんや地域のみなさんに本質を知らせ、早期廃止の運動をすすめます。介護保険制度は来年度が5年に一度実施される改定の時期です。応能負担の改善、負担軽減、認定方式の見直しを求め、誰もが安心して利用できる制度をめざします。

平和といのが守られる、憲法が生かされる社会をめざします。九条の会を病院とともに再開し、核廃絶に向けた運動を前進させます。特に、普天間基地の無条件撤去をめざし、沖縄県民と連帯を強く大きく運動をひろげます。

友の会は「安心して住み続けられるまちづくり」をめざして地域住民とともに見守り活動や健康チェックをすすめます。青空健康チェックの実施場所を拡大します。

訪問活動は会員の願いや要求を知る上でとても大切な活動です。一人暮らしの高齢者や老老世帯の見守り活動は院所と共同を強めます。班活動は友の会活動の基本です。今年度を大きく上回る班会開催を実施します。

友の会づくりの要は会員の拡大です。大きく減少しましたが、知恵と力と創意工夫で、早期に6000名回復のため全力をあげます。新しい民医連綱領でうたわれた「共同組織は他の医療機関にない民医連運動の最大の特徴のひとつ」「民医連運動は医療・福祉専門職と共同組織とともに」の綱領の理念をしっかりと踏まえて活動をすすめます。

共同墓地は非営利の法人化をめざします。後期高齢者医療制度については引き続き廃止の運動をすすめます。介護保険については利用者の立場に立って改善を要求していきます。消費税の増税には反対します。

平和と社会保障、文化・レクレーションの活動

以上を運動をすすめるために、班会や地域での学習会を強め、国会議員要請や地域での宣伝署名行動を行い、地域社保協へ結集して自治体などへの要請や交渉にとりくみます。社保セミナーは地域の社保協との共催も考えていきます。

引き続き憲法改悪反対・核兵器廃絶の署名行動にとりくんでいきます。3・1ピクニックや原水爆禁止世界大会に代表を派遣します。また戦争体験の継承を図るため語り継ぐ会を企画します。

旅行については日帰り旅行と1泊2日の旅行に取り組みます。参加者の高齢に伴いより安全で楽しい旅行にするために、実施時期や目的地の選定を工夫します

シネマに館についてはさらに検討します。俳句教室は楽しく、いい句ができるようみんなで工夫していきます。日本の伝統文化や芸能などにも触れられるような企画を検討します。

学習教育と宣伝の活動

「くらしと健康・友の会ページ」は、ひきつづき平和と医療などの社会保障を守るキャンペーンや友の会活動が地域のまちづくり、健康づくりの役割を担っている活動の紹介、さらに、医療と介護のネットワークづくりの拠点となるような情報発信紙として充実させます。また、地域密着型で、会員さんの心に寄り添った紙面づくりをめざします。独居高齢者や老老世帯が、安全で安心して暮らせるまちづくりキャンペーンにとりくみます。

ホームページは、当面、「友の会ページ」の記事を毎月掲載できるように努力します。タイムリーな内容で学習会を企画します。

保健ボランティア、組織を大きくする活動

6000名の友の会会員をめざし、会員と職員が共同して拡大にとりくみます。「いつでも元氣」を450部にします。

青空健康チェックを旺盛に進めます。特に新しい場所での開催を目標にとりくみます。病院内では、友の会カウンターや院内統一行動を計画し、友の会活動を大いに広めます。

班会を基礎にして会員同士の交流を深め、空白地域の班づくり、休眠班の活動再開を進めます。班会の内容を工夫し、リラククス体操、セラバンド体操やコア体操などを取り入れ健康づくりにとりくみます。会員訪問は、昨年の熱中症の活動に学び旺盛にすすめます。また、地域包括支援センターの協力を得てすすめます。班世話人会を開きます。

また、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮がん検診、乳がんのマンモグラフィー、乳房エコー検診を意欲的にとりくみます。友の会健診と外来人間ドックを大いにとりくみます。保健学校を開催し、青空健康チェックや班会の担い手を多数つくります。歩こう会、お楽しみ会、ヨガ教室、布あそび、男の料理教室は、参加者といっしょに計画をたて魅力ある内容や健康づくりをめざします。好評の待合室セミナーを企画します。

歩むつ会

葛西臨海水族館

9月18日(土)、葛西臨海水族館で歩むつ会を行いました。参加者は13名でした。東京湾をバックに、まるで海の上にいるような気分をさせるガラスドームの水族館入口。水族館には大小の水槽が60以上もあり、ドーナツ型の大水槽には100匹以上のマグロやカツオが泳いでいました。すこいです。魚だけでなくペンギンの群泳や海鳥エトピリカなど、なかなか見ごたえがあります。し

おだまり」にはクロダイがいて、魚にさわれるコーナーがあり、太平洋やインド洋の水槽があり、イソギンチャクやタカラアシガモも一日楽しめます。子ども達に人気の「渚の生物」コーナーでは、

参加者からは「マグロを見てるとあきないね」「マンボウはいやされますね」「またきたい」という感想が寄せられました。

幹事 布施仁



マグロ、カツオの群れで海中気分

友の会写真館

「散歩の途中」
見ているだけで笑顔になれる、ちょっと楽しい時間

大田区 吉田ケエ子



◎ 皆さんのなかよく記念写真

熱中症に気をつけて

記録的な猛暑は8月

話題になりました。

末になっても収まる気がせず、代々木病院と日々木健康友の会の熱中症対策のとりくみは、9月上旬まで続けられました。熱中症の注意を呼びかける広報カーはどこでも歓迎され、患者さんから「宣伝カーが走っていいですね」との声や、ガソリン代のカンパが寄せられたりと、街の

話になりまして。渋谷区への緊急要望に続いて、全日本医師連と生活と健康を守る会が行った熱中症の緊急対策を求める厚生労働省交渉にも参加しました。「いのちにかかわるからクーラーを1日中使用しているが、電気代の負担が重い」「家にクーラーがない利用者もいる」など、患者さんの切実な声や

医療・介護の現場で掘りだした現状を紹介し、高齢者の見守りや低所得者へのクーラーの設置費用や電気代の助成などを求めました。

切実な要望に何ひとつ応えようとしない厚生労働省の態度に、思わず声を大にして「国は危機感をもって対応して」と訴えました。高齢者や低所得者など社会的弱者が孤立しないような地域にしていかなければならないと、実感した夏でした。

組織広報室 前林茂雄

地域・班だより

世田谷健康友の会

フクチン接種 助成を求め運動

細菌性髄膜炎、子宮頸がん、肺炎球菌による肺炎が近年急増・死亡率の高い病気です。これら三つの病気に対するワクチンが開発さ

いまま世田谷区に対して、三つの予防ワクチン接種への公費助成を求め陳情署名運動をすすめています。

この問題にたいする関心は高く、快く署名に応じてくださるばかりでなく、「私も集めます。幹事 岩永静知

医療と研修を考える医学生のつどいに参加して

8月16日に全国から医学生・医師・病院職員・共同組織の人などが総勢400人を超え、人が仙台は秋保温泉に集まりました。

2日間は驚きの連続でした。今年のテーマは「介護・福祉医療者として(その人らしく)生きられる社会を作ろう」というもの

で、在宅看護や在宅医療の講演やシンポジウムが主体でした。私は、学ぶ時は真剣に学び、遊ぶ時は徹底的に楽しむそんな若者に触れられて目を覚まさせられる思いでした。

宿では5人の同室でしたが共同組織の人ばかり、先輩でこちらでの交流も楽しみました。



幹事 石橋勝

日本高齢者大会に参加して

9月13・14日の二日間水戸市内で日本高齢者大会が開かれ、代々木健康友の会を代表して参加しました。

私は、一日目に二つの分科会にて、戦前の絶対的天皇制支配による閉塞状況から、敗

戦を経て自由になったはずの日本が、米国の経済的閉塞状況へと変化をしたこと、と同じような状況がラテンアメリカにもある現状を知らされました。

二日目の池辺晋一郎さんの「一人にもいのち・音にもいのち」と題した記念講演では、音楽の中にも人間を生き生きさせる音階があり、その感性は人間だから読み取ることが出来る。現代における時代閉

来ることを教えられて嬉しくなりました。それらを含めて現在の閉塞状況を打開するためには、民衆自身の豊かな感性を持った闘いによってしか幸せは実現しないことを、改めて

考えさせられました。それにしても日本から4500人も高齢者が集まり天下国家を論じているのに、日本のマスコミが全く報道しないことこそ「現代における時代閉

塞の壁ではないか。そして民主党の今後の政治方向すら示せない菅と小沢の、国民をそっちのけにした痴話喧嘩を、性懲りもなく流し続けたマスコミこそ、閉塞している現代一番の壁ではないかと思わずにいられません。

前途は多事多難あっても大会にそれだけの高齢者が結集したという事は、決して悲観することではなく、力強い前進であることを確信させてくれた大会でもありました。

会長 八田満穂

これからの行事

ヨーガ教室

▽10月4日・18日・25日の毎週月曜日です。▽時間は午前10時〜11時30分

▽場所はふれあい会館

▽会費月2100円で

俳句の会

▽会員募集中です。

▽10月6日(水)午後2時〜です

▽代々木病院東館地下会議室

住宅リフォー

▽10月20日(水)午前10時〜12時

▽場所は2F待合室

▽電話でのご相談も承ります。友の会事務局

男の料理教室

▽10月23日(土)午後6時から千駄ヶ谷社会教育館

▽参加費1000円

布遊び

▽10月27日(水)午後2時〜代々木病院東館地下会議室です

▽参加費は500円です(非会員は600円)

転居など住所が変更される場合は、友の会事務局までご連絡下さい。

すべての行事等の問い合わせ、申し込みなどは、友の会事務局までお願いします。

1階待合室の友の会事務局は平日は午前10時から午後4時まで、この時間以外は2階広報室でご用件をうけたまわります。土曜日、休日はお休みです。

直通番号 (5411) 9589

ファックス (3404) 3421